

# 詩3ツ 露古

## 火吹き男

火吹き男は湿らせた厚い唇に灰を塗り込む  
白く濁った一つ目は火をさまよう

黒い刀を撫でておやりよ

## 火の傘

尾羽がぬれて  
おやおやお気の毒  
このひどい雨は  
(ひどいひどい)  
傘がごいりようか  
わたくしは傘を(火の傘を、  
傘を)  
なんとまあ  
あなたはころり燃え尽きて  
冷たい嘴はしでビィと鳴く

## 影

雲に僕の影がある  
僕は影の見る夢

口笛を吹く